

米沢市で農業者との意見交換会を開催



～地域に開かれた農業を目指す～



発行者：(一社)山形県農業会議
 やまがた農業ファシリテーター研究会
 (愛称:エンジョイ農学部)
 発行日：令和 3年 11月 26日

米沢市農業委員会では山形県農業会議の伴走支援を受け、令和3年10月26日(火)に、「農業者との意見交換会」を開催しました。この座談会は、農業会議の進めるMFAメソッドのファシリテーションの手法を用いて、夢実現型の意見交換として開催され、若手農業者や女性農業者、農業委員・推進委員・事務局職員の計33名が参加し、全員の意見が反映される手法で意見交換をおこないました。

テーマ「明るく楽しい魅力的な農業の10年後のアイデアを出し合おう！」



パペットのショートコントとバイオリン演奏で楽しい雰囲気づくり(話し合いの準備)



米沢市では、農業会議の主催した、ファシリテーター研修会や農業ファシリテーター養成研修会に農業委員3名・推進委員1名・事務局職員2名が参加し、全員が発言出来る、MFAメソッドの話し合い手法について学んでいます。その経験を活かし、初の試みとして、農業ファシリテーターの参加する意見交換会を実施。話し合いはおおいに盛り上がり、参加者からは、「性別・年齢関係なく、自然に言い合える環境づくりは大事だと感じた」といった感想があがりました。

全員で考え・全員でまとめ・全員で意見をカタチにする



←会長からのご挨拶



山形県農業会議の農業ファシリテーターが進行役を務めました



写真撮影時のみマスクを外していただいております。

全員で考えた明るく楽しい魅力的な農業の「アイデアの種」

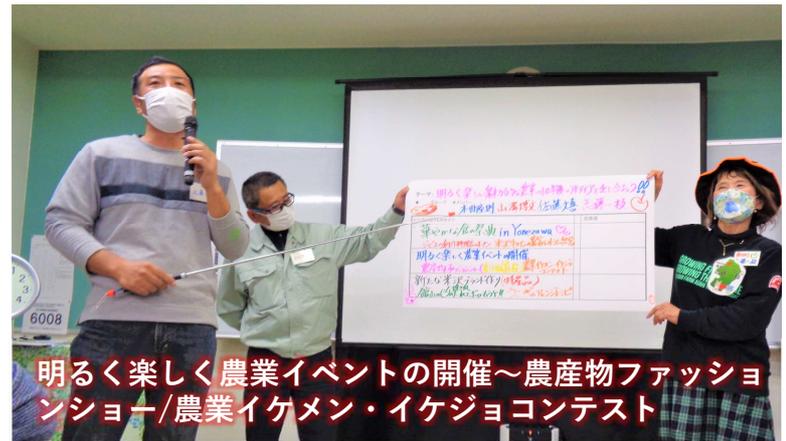
「夢実現型」の意見交換会の流れ

- 1.話し合いの準備(雰囲気づくり)
- 2.テーマについて、個人で付箋に意見出し
- 3.個人で出した意見をグループで整理
- 4.全員でグループの意見を3つに絞る
- 5.グループの意見を全員で発表
- 6.みんなで投票
- 7.出された意見(アイデアの種)を事務局が整理して農業施策等に活用



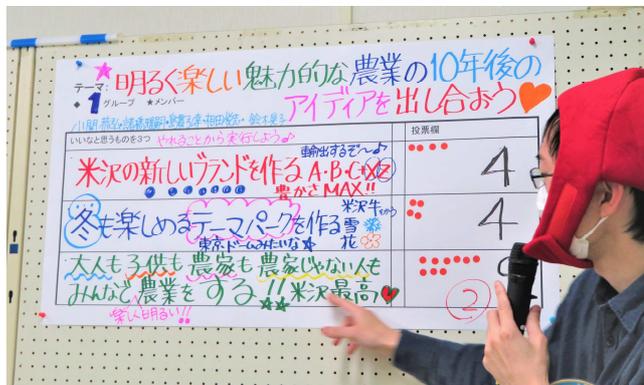
米沢の新しいブランドを作る
(今ある米沢のABC+XZを！(豊かさMAX!!))

↑↓グループみんなで力を合わせて意見発表



明るく楽しく農業イベントの開催～農産物ファッションショー/農業イケメン・イケジョコンテスト

この手法は、まずはみんなで夢を語り「アイデアの種」を出し合うんだ！
この「アイデアの種」を練りこんで、身の丈で出来ること、身近で出来ることを考え、実行していくんだ！



↑投票の結果発表。全員で考えた素敵な「アイデアの種」がたくさんだされました！

参加者からの声

今回の意見交換会はいつもと違い、楽しく、和気あいあいとできてよかったです。このやり方だと、他の人の意見も細々したところまで聞けました。こういうやり方もあると学べてよかったですと思います。

(当日1番の若手 Mさん)



課題は夢の上書きで消していこう！

米沢市農業委員会では、意見交換会で出された、「明るく楽しい魅力的な農業の10年後のアイデア」を整理して、夢実現型の意見として、市の農業施策に反映されるよう、市に対する意見書に盛り込む等活用していく予定です。

～農業ファシリテーターとは「地域に開かれた農業の推進を担う人」のこと～

農業の課題は農業者だけの解決は難しく、また、地域の課題も地域だけでは解決が難しくなっています。「農業者」と「地域住民」が一緒になって、「課題」について話し合っていくために、ファシリテーターの「対話のスキル」だけでなく、「まちづくりのスキル」も身に付けた人を「農業ファシリテーター」といいます。山形県では、現在17名が、農業ファシリテーターの資格を取得しています。

やまがたの人・農地プラン「実質化」そして「実行」へ・・・

山形県農業会議では、「やまがた地域の農地を活かし、担い手を応援する活動～れいわネクストアクション～」で、農業ファシリテーターの養成等、農業委員会の活動を伴走支援しています！

詳しくは山形県農業会議HPをご覧ください <http://www.yca.or.jp/>

